

平成29年度大学入試センター試験について

試験日：平成29年1月14日（土）・15日（日）

試験場名	長崎大学文教地区試験場 (長崎市文教町1-14)	
試験場コード	119101	119151
受験番号	1001C~4134A	9901B
交通案内	JR長崎駅から 路面電車 「長崎駅前」→(赤迫行き)→「長崎大学前」下車 長崎バス 「長崎駅前」→(1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行き) →「長崎大学前」下車	
	JR浦上駅から 路面電車 「浦上駅前」→(赤迫行き)→「長崎大学前」下車 長崎バス 「浦上駅前」→(1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行き) →「長崎大学前」下車	
	長崎空港から 県営バス 「長崎空港4番のりば」→(長崎方面「昭和町・浦上経由」行き) →「長大東門前」下車 県営バス 「長崎空港4番のりば」→(長崎方面「住吉経由」行き) →「長大大学前」下車	
試験場配置図&受験者への注意事項は次のページへ		

試験場の下見について

平成29年1月13日(金) 13:00~17:00

※ 注意事項

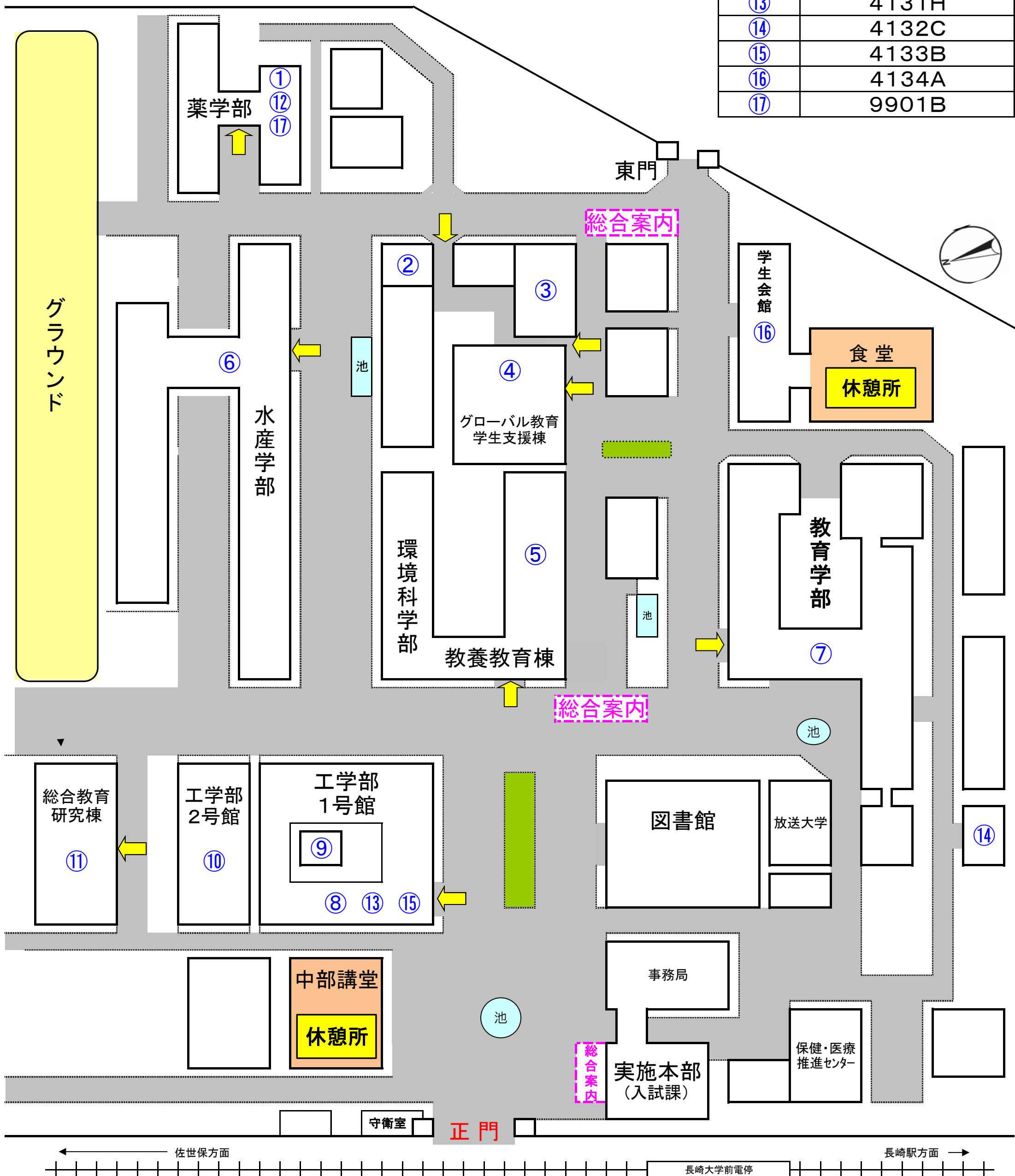
1. 試験場の下見は試験室前までです。試験室内への立ち入りはできません。
2. 試験室の場所については、試験場入口に掲示します。
3. 自動車、バイク等での試験場内への乗り入れを禁止します。

平成29年度大学入試センター試験 長崎大学 文教地区試験場 配置図

試験室	受験番号
①	1001C ~ 1210R
②	1211M ~ 1387K
③	1388H ~ 1725R
④	1726M ~ 1905K

試験室	受験番号
⑤	1906H ~ 2567Y
⑥	2568X ~ 2883A
⑦	2884Z ~ 3289X
⑧	3290K ~ 3719U

試験室	受験番号
⑨	3720H ~ 3761M
⑩	3762K ~ 3895H
⑪	3896C ~ 4129X
⑫	4130K
⑬	4131H
⑭	4132C
⑮	4133B
⑯	4134A
⑰	9901B



受 験 者 へ の 注 意 事 項

以下の注意事項は、大学入試センターから受験票と共に送付された「受験上の注意」の内容を抜粋、要約したものです。大学入試センター試験を受験するに当たっては、必ず事前に大学入試センターの「受験上の注意」及び「受験案内」をよく読んでください。

1. 受験する試験室の下見を、1月13日(金)の13:00~17:00までに行ってください。ただし、試験室内への立ち入りはできません。
2. 受験票及び写真票は、試験当日必ず持参してください。
3. 受験者は、14日(土)の「地理歴史、公民」の2科目受験者は、8:55から入室開始とし、9:05までに指定された試験室に入室を完了して下さい。「地理歴史、公民」の1科目受験者は、10:05から入室開始とし、10:15までに指定された試験室に入室を完了して下さい。
15日(日)の「理科①」は、9:05から入室開始とし、9:15までに指定された試験室に入室を完了して下さい。なお、「理科①」を受験せず、「数学①」から受験する受験者は、10:55から入室開始とし、11:05までに入室を完了して下さい。
その他の教科・科目については、各自が受験する教科・科目の試験開始時刻の15分前までに指定された試験場・試験室に入室してください。ただし、14日(土)の英語リスニングについては、試験開始5分までに入室して下さい。
試験場は受験票で指定します。指定された試験場以外では、受験は出来ません。
4. 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻20分以内の遅刻に限り受験を認めます。(2科目受験者は第1解答科目の遅刻限度までに入室していない場合は、第2解答科目を含めて一切受験することはできません。また、第1解答科目を受験して、第2解答科目を受験せずに退室することもできません。)
ただし、リスニングは、試験開始時刻(17:10)までに入室していない場合は受験することができません。
なお、遅刻の理由が公共交通機関等の事故の場合で、追試験の受験を希望する場合は、近くの係員に申し出てください。
5. 試験室では、机の上の受験番号が自分の受験票の受験番号と同一であることを確認して着席してください。
6. 試験当日、受験票・写真票を紛失、又は忘れた場合は、速やかに近くの係員に申し出てください。
7. 受験票は、各大学の個別学力検査を受験する際及び入学手続き等の際にも必要ですので、試験終了後も大切に保管しておいてください。
8. 「受験票」「写真票(最初に受験した教科・科目の試験中に回収します。)」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「黒鉛筆(H, F, HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)」 「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。)」 「時計(辞書や電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。)」 「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)」 「目薬」です。ただし、シャープペンシルは、メモや計算に使用する場合に限り机の上に置いてかまいません。これ以外の所持品を置いてはいけません。
9. 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。
10. 「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型端末」「ICレコーダー」等の電子機器類、「定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)」 「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具、「和歌等が印刷されている鉛筆等」は使用できません。
11. 「耳せん」は監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。また、「座布団」「ひざ掛け」は監督者の許可を受けてから使用してください。
12. 試験室における暖房については、使用しないことを原則としていますので、受験者各自において衣服等により調整ができるようにしておいてください。
13. 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
14. 試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、不正防止のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。
15. 試験終了後であっても、まだ試験が終わっていない試験室がありますので、試験場内の移動の際は、静かに行動してください。(特にリスニングテスト時)
16. 試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡回による足音・周囲の受験者の咳・くしゃみなど)が発生した場合でも救済措置は行いません。
17. 受験しない教科・科目の試験時間中は、試験室には入室できません。
受験する教科・科目までの時間は、受験者休憩所等を利用し、試験室のある建物内には立ち入らないようにしてください。
受験者休憩所等の場所は、事前に試験場配置図で確認しておいてください。
18. 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。